



# 美しい 県土づくりNEWS

2016年  
10月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第147号  
平成28年10月31日発行  
編集 県土整備企画室



## 三陸復興

### 目次

- 2 奥州スマートインターチェンジ 平成30年3月完成に向け前進
- 3 台風第10号による災害への対応
  - ・道路の通行止め解除に向けた取組状況
  - ・「災害時における応急対策業務に関する協定」に基づく復旧支援状況
  - ・安倍総理と早期復旧に向け意見交換
- 7 大船渡港永浜・山口地区工業用地の分譲を開始しました
- 8 内丸地区 落葉清掃、今年も始まりました！
- 9 いわて花巻空港にて、スカイフェスタ2016を開催しました！
- 10 いわて花巻空港に台湾からの秋季プログラムチャーター便が到着！
- 11 第13回岩手「道の駅」いーはとーぶスタンプラリー開催のお知らせ
- 12 県土整備部の職場紹介 ～下水環境課～
- 13 県土整備部の職場紹介  
～沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター～

## 祝 奥州スマートインターチェンジ着工！！

平成28年9月17日(土)、奥州スマートインターチェンジの着工式が奥州市、岩手県、東日本高速道路(株)北上管理事務所の主催により、盛大に開催されました！！

式典は、奥州市胆沢区小山字笹森地内の奥州スマートインターチェンジ上り線工事用地内で行われ、事業関係者、施工業者のほか地元の皆さまが出席し執り行われました。

(奥州スマートインターチェンジの概要は次ページ)



鍬入れの様子。事業関係者のほか、地権者代表、水沢農業高校の生徒さんも加わり、工事の安全と地元の発展を祈願しました。

# 奥州スマートインターチェンジ 平成30年3月完成に向け前進

道路建設課、県南広域振興局土木部

## ○奥州スマートインターチェンジの概要

スマートインターチェンジ（SIC）は、通行可能車両をETC搭載車に限定したICで、従来のICより低コストでの整備・運用が可能です。奥州SICは、東北自動車道水沢IC～平泉前沢IC間に本線直結型で整備を進めています。

奥州SICの整備によって、県立胆沢病院へのアクセスが改善され、搬送時間の短縮による救命率向上が見込まれるとともに、集積する農畜産物集出荷施設等における物流の効率化、水沢市街地からの利便性の向上など、地域振興の発展に大きく寄与するものと期待されます。



ケロ平



- 【凡例】
- 工業団地、製造業等
  - 農畜産物集出荷施設等



笹森神楽保存会の皆さまによる「笹森神楽」

着工式典に先立ち、奥州市指定無形民族文化財「笹森神楽」を、地元保存会の皆さまが披露



東北自動車道（ETC専用）  
奥州スマートインターチェンジ整備中

奥州市  
岩手県

料金所イメージ

平成30年3月 完成予定

## 台風第10号による災害への対応 ～道路の通行止め解除に向けた取組状況～

### 道路環境課

8月30日(火)、岩手県に上陸し、県内各地に甚大な被害をもたらした台風第10号につきまして、当課および各振興局・土木センターにおいては、県管理道路の早期通行止め解除及び通行規制情報の提供に取り組んだところです。

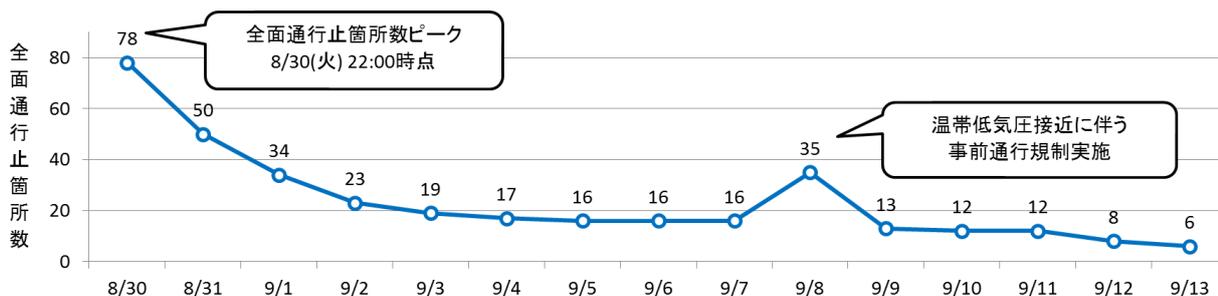
### 台風第10号関連の県管理道路全面通行止め解除状況

県管理道路の全面通行止めは安全が確保され次第、順次解除し、主要路線の早期通行止め解除に努めてきました。最大で78箇所あった全面通行止めも10月25日(火)時点では3路線3箇所となっています。

表 台風第10号の大雨被害による主要路線の全面通行止め解除一覧表(解除日時順)

道路種	路線	区間	延長(km)	全面通行止め解除日時
一般国道	455号	岩泉町乙茂	0.2	9/8(木)17時
一般国道	281号	久慈市戸呂町～久慈市大川目	8.3	9/8(木)17時
一般国道	106号	宮古市墓目地内	2.0	9/10(土)17時
一般国道	455号	岩泉町落合～岩泉町二升石	2.0	9/12(月)17時
一般国道	340号	岩泉町大渡～宮古市押角	12.0	9/12(月)17時
一般国道	281号	久慈市沼袋～久慈市戸呂町	7.6	9/13(火)17時

### <参考> 台風第10号の大雨被害による全面通行止め箇所数の推移(台風第10号上陸後2週間)



※「全面通行止め箇所数」は各日の最終取纏め時の数値

### 台風第10号関連の通行規制情報の提供について

#### 1 台風第10号関連特設ページの作成

当課で運営している岩手県道路情報提供サービスについては、日頃、正確かつ迅速な通行規制情報の提供に努めているところですが、台風第10号上陸の際には、パソコン向け及びスマートフォン向けに各々専用ページを作成し、通行可能路線図や主要路線の通行解除予定日時のお知らせ、事前通行規制の予告など、利用者への迅速な情報提供に努めました。また、テレビや新聞等の報道関係の皆様にもご活用頂きました。

<参考> 岩手県道路情報提供サービス台風第10号関連特設ページ



パソコン向けページ

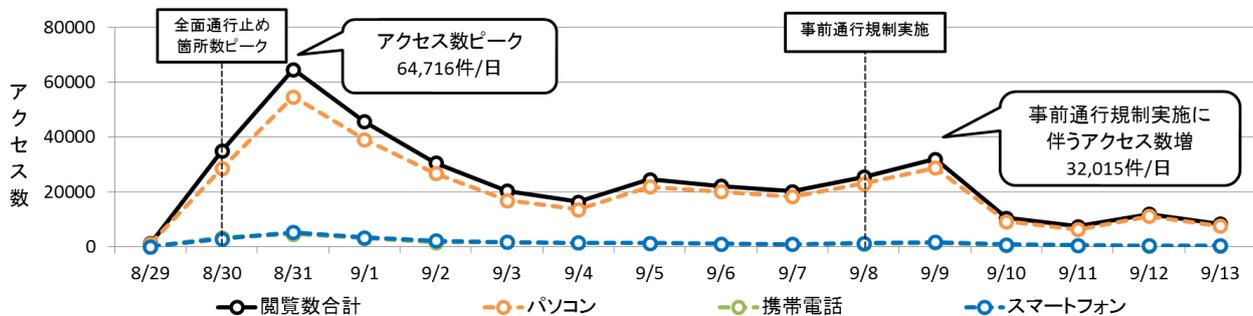


スマートフォン向けページ

2 岩手県道路情報提供サービスの日別アクセス数の推移について

通常、夏期におけるアクセス数は500~1,000件/日で推移していますが、台風第10号によって全面通行止め箇所がピークとなった翌日の8月31日(水)のアクセスが約6.5万件、温帯低気圧接近に伴う事前通行規制を実施した翌日の9月9日(金)のアクセスが約3万件に達するなど、利用者の道路情報提供サービスへの関心の高さを改めて再認識したところです。

<参考> douro.com の日別アクセス数の推移 (台風第10号上陸前日~上陸後2週間)



岩手県道路情報提供サービスでは、台風第10号関連の通行規制情報を随時更新しています。下記 URL を入力または QR コードを読み取ることでアクセス出来ますので、是非ご活用下さい。

岩手県道路情報提供サービス  
PC向けページ URL  
<http://www.douro.com/>



岩手県道路情報提供サービス  
スマートフォン向けページ URL  
<http://www.douro.com/sp/>



## 台風第10号による災害への対応

～「災害時における応急対策業務に関する協定」に基づく復旧支援状況～

建設技術振興課

一般社団法人岩手県建設業協会には、「災害時における応急対策業務に関する協定」に基づき、台風第10号による暴風雨の中、県内全域における道路パトロールや倒木処理を始め、国道455号二升石地区の通行止め解除に向け24時間体制で対応するなど、多くの被災現場で応急復旧作業に当たっていただいております。10月26日（水）現在で建設企業116社（延べ作業員12,300名余）が、重機延べ7,600台余（バックホウ2,700台余、ダンプトラック3,100台余など）が作業に携わっています。

また、一般社団法人岩手県測量設計業協会においても、災害協定に基づき、被災市町村及び県各公所において、ドローンなどを使った災害箇所調査や測量、地質調査、図面作成等に当たっていただいております。10月20日（木）現在で測量・設計企業延べ37社（延べ13,300名余）が作業に携わっています。

両協会の御協力に改めて感謝するとともに、11月7日（月）から予定されている災害査定や、その後の本格的な災害復旧工事においても両協会の協力が不可欠であることから、引き続き緊密に連携を図り、被災地域の早期復旧のため「オールいわて」で取り組んでいきましょう！



国道455号二升石地区 応急復旧作業（岩手県建設業協会関係）



県道7号久慈岩泉線 被災状況の調査（岩手県測量設計業協会関係）

## 【台風災害】安倍総理と早期復旧に向け意見交換

10月8日(土)、安倍晋三内閣総理大臣が来県し、台風災害により被災した岩泉町を視察しました。

安倍総理は、被災したグループホーム楽ん楽んや岩泉乳業等を視察し、今も避難所となっている町民会館を訪問した後、県や岩泉町と意見交換を行いました。

達増県知事からは、「台風第10号の大雨等による被害に関する要望書」を手渡し、被災地の早期復旧のため、災害応急対策等への財政支援、被災市町村及び県のマンパワー確保、公共土木施設等の早期復旧及び防災・減災対策に対する支援等を要望しました。

また、岩泉町から、応急仮設住宅の整備や被災住民支援に対する国の財政支援を求める意見や、生活橋が流され、地域住民が苦慮している実情等についての発言がありました。安倍総理からは、「地方創生は政府の大きな柱であり、岩泉町のような地域で若い人たちががんばれるよう応援していきたい」という発言がありました。



達増知事から安倍総理への要望書手交

【台風第10号の大雨等による被害に関する要望書】

- 1 災害応急対策等への財政支援等
  - (1) 災害応急対策等への財政支援
  - (2) 復興事業に係る施設等に対する財政支援
- 2 被災した市町村及び県のマンパワー確保
- 3 農林水産基盤の早期復旧及び農林水産業に対する支援
- 4 公共土木施設等の早期復旧及び防災・減災対策に対する支援
  - (1) 公共土木施設等の早期復旧
  - (2) 防災・減災事業に対する財政支援の拡充
  - (3) 復興道路等の早期整備
- 5 情報通信基盤の早期復旧に対する支援
- 6 「暮らし」の再建に対する支援
- 7 医療機関・社会福祉施設等の早期復旧に対する支援
  - (1) 医療機関の早期復旧に対する財政支援
  - (2) 社会福祉施設等の早期復旧に対する支援
- 8 被災した商工観光事業者等の早期復旧に対する支援
  - (1) 被災事業者等の経営再建に向けた支援
  - (2) 宿泊施設及び観光施設の復旧に向けた支援
- 9 学校施設・文化財等の早期復旧に対する支援

グループホーム楽ん楽ん視察



国、県、町との意見交換



# 大船渡港永浜・山口地区工業用地の分譲を開始しました

港湾課

大船渡港永浜・山口地区に整備を進めている工業用地（約11.7ヘクタール）のうち、竣功している第1期分（約5.3ヘクタール）について、平成28年9月13日（火）に分譲を開始しました。

本工業用地は、県内最大水深の-13m公共岸壁に隣接した「港湾利用型」、岩手県南地域を背後圏とする流通拠点・産業基盤であるとともに地域産業振興の拠点としての「地域経済波及型」、東日本大震災津波からの復興における新たなまちづくりとともに歩む「環境共生型」を掲げる、県内臨海部最大規模の区画となっています。

客船「飛鳥II」が寄港するなど、海の玄関口として注目されている大船渡港は、岩手が誇る「天然の良港」であり、湾口防波堤により湾内の静穏度が保たれていること、防潮堤に守られた工業用地であることなど、良好な立地環境となっていることから、本工業用地の分譲を早期に実現し、東日本大震災津波からの復興や地方創成につなげていくこととしています。

用地概要		
全体面積	11.7ha	
工業用地面積	11.7ha	
今回分譲面積	5.3ha（第1期分）	
分譲方法	一括購入を基本とする	
分譲条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業の事業所に活用すること</li> <li>・大船渡港を活用（貨物取扱）すること</li> <li>・周辺環境に配慮した事業所とすること</li> </ul>	
分譲価格	12,700円/㎡	
地域指定	臨港地区	
電力	6.6kv（赤崎線まで0.1km）	
用水	上水道整備予定	
排水	公共下水道整備予定	
交通アクセス	道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三陸縦貫自動車道大船渡IC 7.4km</li> <li>・国道45号 4.8km</li> </ul>
	鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR東北新幹線水沢江刺駅 68.0km</li> <li>・JR大船渡線（BRT）大船渡駅 3.9km</li> </ul>
	空港	いわて花巻空港 83.0km



- セールスポイント
- ◇県内最大水深の-13m 公共岸壁に隣接
  - ◇防潮堤（水面高 7.5m）に守られた工業用地
  - ◇三陸沿岸道路の完成で、仙台までの所要時間が短縮  
[現状: 2時間45分 ⇒ 完成後: 1時間45分]
  - ◇国際フィーダーコンテナ航路が就航中（週1便）

分譲方法など

- 優れた事業計画を採用するため、公募型プロポーザルにより事業者を募集しています。
- 公募等のスケジュールは、以下のとおりです。

平成28年9月13日（火）	公募要綱の公表（分譲開始）
平成28年10月3日（月） ～平成28年11月30日（水）	申込受付
平成28年12月	事業計画等の審査
平成29年1月以降	買受予定人の決定、土地売買契約の締結

# 内丸地区 落葉清掃、今年も始まりました！

盛岡広域振興局 土木部



平成 16 年から実施している内丸地区の落葉清掃、今年で 13 年目を迎えます。今年例年より少し早めて行っています。

実施日：10月17日（月）～11月17日（木）頃までの月曜と木曜の週2回

内丸地区を通る国道 455 号（中央通）の街路樹（トチノキ）は、夏には木陰を提供し、歩行者に憩いを与え、秋になると紅葉により季節を感じさせる一方、落葉により交通や歩行へ支障を与える状況となります。

そこで、道路を管理している土木部では、業務委託による清掃に加えて、平成 16 年度から関係機関にも呼びかけ、朝の勤務開始前の時間（午前8時頃から 20 分程度）を利用して、落葉の清掃活動を行っています。

内丸地区では、周辺に所在する国と県の行政機関（盛岡地方裁判所、法務合同庁舎、国合同庁舎、盛岡東警察署、県議会事務局、県庁、盛岡広域振興局等）の職員有志によるボランティア活動として落葉清掃にご協力をいただいているところです。

また、岩手県盛岡土木C級会（46社）では、清掃活動が手薄になる週末（土曜朝6時～）に、歩道のほかに人手の届かない当地区のバス停の屋根の清掃についても、ボランティア活動として実施をいただいています。



内丸緑地前



県庁・議会前

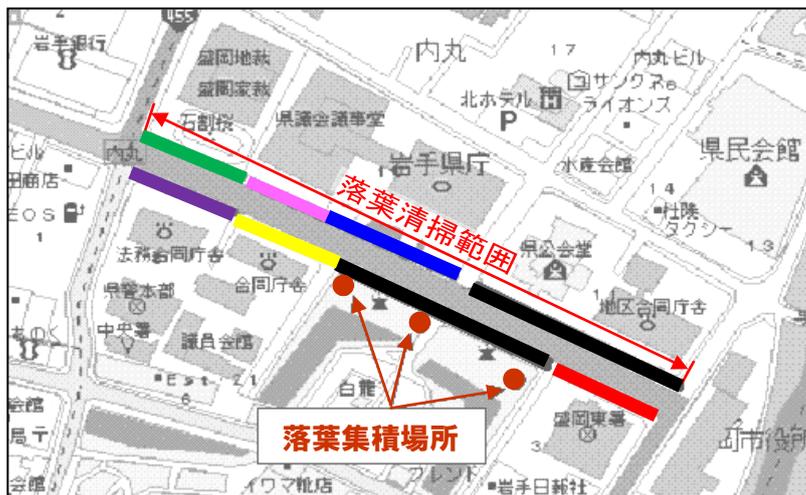


裁判所前



法務合同庁舎～国合同庁舎

10月27日朝の様子



- 東警察署
- 国合同庁舎
- 検察庁
- 裁判所
- 県庁
- 議会事務局
- 振興局

←落葉清掃の範囲

## いわて花巻空港にて、スカイフェスタ2016を開催しました！！

空港課

### 9月22日(木・祝)大勢の皆様へ空港施設やイベントを楽しんでいただきました！

スカイフェスタは、空の日にちなんだ恒例のイベントで、花巻空港ウエストエプロンで開催しました。当日は、8,106名が来場し、大変賑わいました。

普段間近で見ることのできない防災ヘリコプターや、化学消防車の乗車体験などを通して、空港業務を紹介するなど、来場された皆様へ空港を身近に感じていただきました。

また、会場内の飲食店ブースでは、各地特産品を販売するブースが並ぶ中に、台風第10号で被害を受けた岩泉町のうれいら通り商店街から「上あめや」「志たあめや」の2店舗が出店。各店舗とも盛況でした。



岩手県防災ヘリコプター「ひめかみ」に体験搭乗



特産品を販売した飲食店ブースも大盛況！

### 9月25日(日)みんなが知りたい空港の裏側「バックヤードツアー」で満喫！

スカイフェスタのサブイベントとして、「花巻空港バックヤードツアー」を開催しました。当日は、岩手県、宮城県の小学4年生から中学生までの応募者24名が参加し、JAL社員による「航空教室」を受けた後、作業車両の見学や、マイクロバスに乗車し滑走路を走行するなど、普段はできない特別な体験をしました。



除雪作業車のごわごわした大きなブラシを触ってみる



化学消防車の上に登ってみる参加者

## いわて花巻空港に台湾からの秋季プログラムチャーター便が到着！

空港課

### 台湾チャーター便で147名様にご到着 歓迎セレモニーを行いました

10月24日(月)に、いわて花巻空港に台湾桃園空港からの秋季プログラムチャーター初便が147名を乗せ、12:30に到着し、花巻空港のゆるキャラ「はなっぴー」らがお出迎えをしました。その後、空港ターミナル内にて機長及び客室乗務員をお迎えし、歓迎セレモニーを行いました。



セレモニーでは、花巻空港国際線チャーター便歓迎実行委員会の安藤昭会長が「紅葉が美しい時期。地域の魅力を十分に堪能してほしい。地域の人たちと交流を深めることで、台湾と岩手の親睦が一層深まることを期待したい」と歓迎しました。台湾からのツアー客の皆様は「わんこそばを食べてみたい」「温泉が楽しみ」などと話しながら、ツアーバスで、錦秋に染まる東北各地を巡る4泊5日のツアーへと出発しました。



### プログラムチャーターとは

プログラムチャーターは、範囲、日程等を決め、計画的に出発地と目的地を結んで数便連続して運航します。

通常のチャーター便は、往復運航の片道が回送での運航になりますが、プログラムチャーターは数便を連続して運航し、この回送運航を極力減らすことで、効率的な運航が可能となります。



# 第13回岩手「道の駅」いーはとーぶスタンプラリー 開催のお知らせ

道路環境課

第13回岩手「道の駅」いーはとーぶスタンプラリーが、平成28年11月1日（火）から平成29年4月16日（日）までの間、開催されます。皆様の参加をお待ちしています。

## ●スタンプラリーの内容

<b>いわてフルマラソン大賞</b>	<b>いわって大賞</b>
休業中の道の駅を除く、全ての駅のスタンプを集めて応募された方から、抽選で5名様に超豪華な岩手県内特産品をプレゼント！	20駅以上のスタンプを集めて応募された方から、抽選で10名様に8,000円相当の岩手県内特産品をプレゼント！
<b>5 名 様</b>	<b>10 名 様</b>
<b>つめちゃったで賞</b>	<b>馬かったで賞</b>
10駅以上のスタンプを集めて応募された方から、抽選で20名様に5,000円相当の岩手県内特産品をプレゼント！	6駅以上のスタンプを集めて応募された方から、抽選で93名様に県内道の駅31駅特産品をプレゼント！
<b>20 名 様</b>	<b>93 名 様</b>
<b>いーはとーぶ賞</b>	<b>完走賞</b>
3駅以上のスタンプを集めて応募された方から、抽選で100名様に岩手県内道の駅で使える商品引換券をプレゼント！	休業中の道の駅を除く、全ての駅を制覇された方全員に、完走証明書を発行！
<b>100 名 様</b>	<b>完 走 者 全 員</b>

※道の駅「高田松原」は現在休業中です。

## ●応募ハガキは、県内の道の駅各駅にあります

岩手県内の「道の駅」に置いている応募ハガキ（お1人様1枚）に各「道の駅」のスタンプを捺印し、必要事項を記入の上、切手を貼って応募してください。



## ●お問合せ先

岩手河川国道事務所 調査第二課（直通）  
Tel 019-624-3196  
三陸国道事務所 交通対策課（直通）  
Tel 0193-71-1718  
岩手県県土整備部 道路環境課（直通）  
Tel 019-629-5880 又は各道の駅まで。

これからの時期は、峠部等において、路面凍結のおそれがあります。冬支度の上、時間と車間距離に余裕を持った運転をお願いします。

# 県土整備部の職場紹介 No.8 下水環境課

県土整備部は、「県民から信頼される県土づくり」を目指して、各室課がそれぞれの役割を果たしています。各室課が取り組む課題や業務を毎月ご紹介します。

## 組織の概要

下水環境課では、県民の衛生的で快適な生活環境の充実、公共用水域の水質保全、下水資源の有効利用、汚水処理事業の健全経営、浸水不安のない街並みづくりを目指すため、下水道、農業集落排水、浄化槽に係る汚水処理の総合的な企画・調整や県が事業主体である流域下水道事業の各種計画の策定、市町村が事業主体である公共下水道事業等への助言などを行っています。

## 計画担当

計画担当では、**汚水処理に係る企画調整・促進に関する業務**を担当しています。

汚水処理を取り巻く状況の変化に対応し、県民の衛生的で快適な生活環境の充実等を図るため、主に以下の取組を行っています。

現在、国から示された10年概成に向け、現在の県構想である「いわて汚水処理ビジョン2010」の見直しを行っているほか、流域下水道事業の平成32年4月からの公営企業会計適用に向けた準備や、各市町村の浄化槽事業への財政支援とともに、普及啓発活動として県内各地の小学校等を対象とした浄化槽出前講座を開催しています。

また、市町村担当者の能力向上と、課題解決への支援として、公営企業会計研修等、各種勉強会を開催しています。

### 3 下水道と浄化槽のかつやく！ げすいどうとじょうかそうのやくめ

① 家などから出る水のごみを、下水道は **やく100分の1**に、浄化槽は **10分の1**に減らすことができますので、身近な小川がきれいになります。



浄化槽出前講座でのスライドの一例

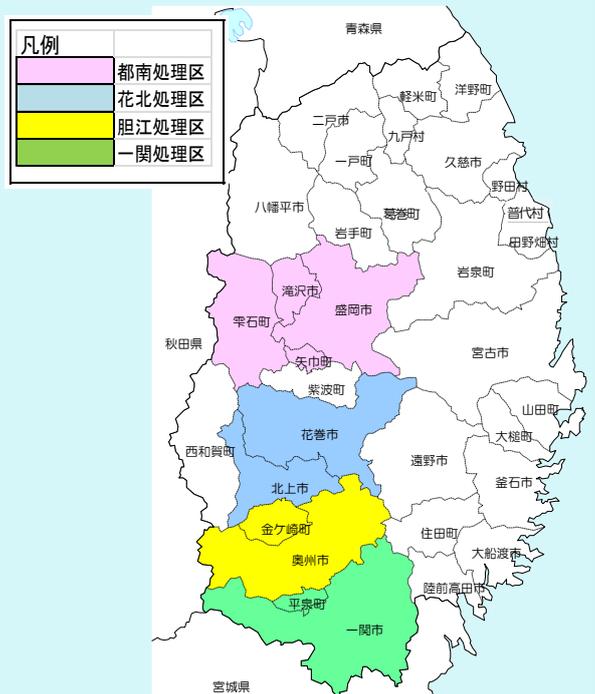
## 事業担当

事業担当では、県内の汚水処理事業のうち、**複数の市町村に跨る下水道について県が整備を行う流域下水道事業並びに各市町村が単独で整備を行う公共下水道事業及び農業集落排水事業**に関する業務を担当しています。

流域下水道事業は、2流域（北上川上流流域、磐井川流域）4処理区（都南処理区、花北処理区、胆江処理区、一関処理区）で事業を実施しており、北上川上流流域下水道事務所と連携しながら施設整備、維持管理を行っています。

公共下水道事業は全33市町村中31市町村で、農業集落排水事業は22市町村で事業を実施しており、県は各市町村事業への助言・調整等に関する業務を行っています。

汚水処理施設の整備については、概ね今後10年程度で概成させる方針が国から示されていますが、県内の汚水処理人口普及率は平成27年度末で全国34位の79.0%（うち下水道57.1%、農業集落排水7.6%、その他14.3%）に留まっていることから、市町村と協力し、早期概成に向けた汚水処理区域の見直し等の検討を進めています。

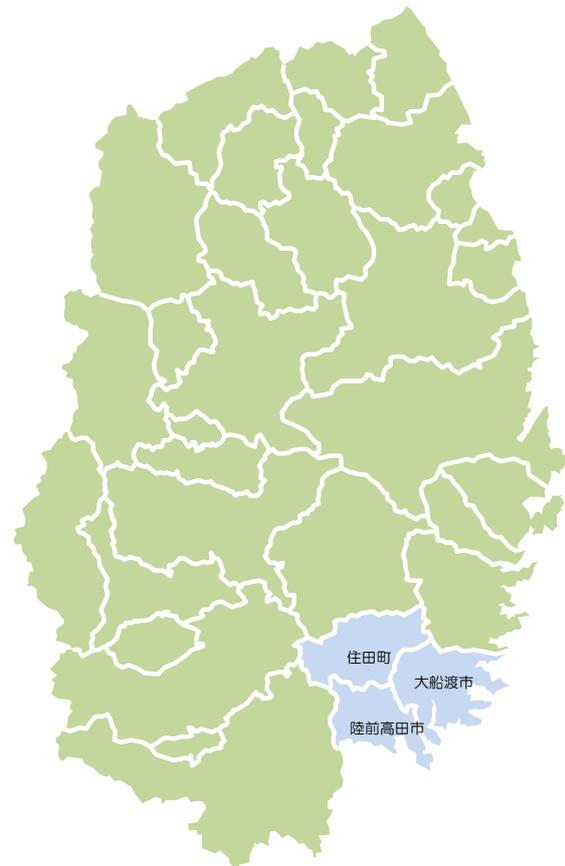


## 県土整備部の職場紹介 No.9 沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

### 地域概要

大船渡土木センターの所管区域は、大船渡市、陸前高田市及び住田町の2市1町で、岩手県沿岸部の最南端に位置しています。

東日本大震災津波により被災した公共土木施設の迅速な復旧・復興、管内の社会資本の良好な維持管理に務めるとともに、地域住民との協働や管内市町との連携により、「暮らしの再建」や「なりわいの再生」に向けた「防災のまちづくり」を強く推進しています。



### 組織体制

#### ○平成28年度組織キャッチフレーズ

気仙の復興の日まで 心ひとつに **がんばら・ネバー・give up**

#### ○組織の特徴

当センターの組織は、所長、副所長以下6課及び1担当で構成され、職員数は、**正職員49名**、**全国から派遣された職員21名**（大阪府15名、福岡県2名、高知県2名、新潟県1名、山口県1名）、**任期付職員9名**の**総勢79名**の体制となっています。

### 今年度の主な取組

#### 1. 主要地方道大船渡広田陸前高田線 花貝地区 開通

『まちづくり連携道路』として整備を進めていた、主要地方道 大船渡広田陸前高田線の花貝地区 地域連携道路整備事業が完成。9月29日（木）に開通式を行い、同日15時から供用を開始しました。津波浸水区域を避けた位置に道路を計画するとともに、陸前高田市の復興まちづくり（高台移転等）と調整を図り整備を進めてきたものです。



開通式（9/29）の様子

